



ドライブレコーダー TZ-D215W

品番：88TZD215W

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サービス

取扱説明書 本体編

この度は、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本機からDCプラグをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してからおこなってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを別にご購入する場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード(8GB:V9TZDRX09/16GB:V9TZDRX10/32GB:V9TZDRX11/64GB:V9TZDRX12)をご購入ください。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logoは登録商標です。

STARVISおよび **STARVIS** はソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfd/download_viewer.php

もくじ

もくじ

はじめに

安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6
使用上の注意	7
録画についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
microSDメンテナンスフリー機能について	7
パーキングモードについて	8
GPSについて	8
ディスプレイについて	8
タッチパネルについて	8
ナイトクリア ver.2について	9
DCコードについて	9
アイドリングストップ車での使用について	9
GPSおしらせ機能について	9
専用ビューアソフトについて	9
カメラレンズの注意事項	9
事故発生時の注意事項	9
本体/付属品	10
付属品	10
オプション品・補給品	11
各部の名称と機能	12
本体	12
別体カメラ	13

取り付けと準備

取り付け方法	14
本体と別体カメラの取り付け場所（推奨）	14
本体をフロントガラスに取り付ける場合	15
本体の取り付け位置（正面）	15
本体の取り付け位置（側面）	15
本体をフロントガラスに取り付ける	16
本体用マウントベースから本体を取りはずす	16
別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合	17
別体カメラの取り付け位置（正面）	17
別体カメラの取り付け位置（側面）	18
別体カメラをリヤガラスに取り付ける	18
別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合	19
別体カメラの取り付け位置（側面）	19
別体カメラをリヤトレイに取り付ける	19
本体と別体カメラを接続	20
接続方法	20
別体カメラの設定	20
ヒューズボックスから電源を取る場合	21
ACC線から直接電源を取る場合	21
配線処理	22
コードレールを使用した配線処理	22
microSDカードの挿入および取り出し	23
microSDカードの挿入	23
microSDカードの取り出し	24

基本操作

製品の使用方法	25
電源のON/OFF	25
エラーメッセージ	26
ディスプレイ	27
タッチパネルについて	28
録画方法	29
録画モードについて	29
クイック録画機能（手動）	30
撮影モードについて	30
パーキングモードについて	31
パーキングモードの設定	32
パーキングモードの動作LED	33
パーキングモードの動作	33

各種設定

各種設定の変更	34
設定の変更方法（例：アイコン表示）	34
設定一覧	35
設定一覧（つづき）	36
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	37
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	37
画像モード設定	38
その他の機能	39
再生モード	39
GPSおしらせ機能	40
MyCellstarについて	41
パソコンでGPSデータをダウンロード	41
GPSデータ更新	43
GPSデータの版数確認	43
外部モニター表示	44
TZセーフティーレーダーに接続	46
GPS測位について	47
フォーマット	48
システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）	49
システムリセット	49
強制初期化（強制フォーマット）	49
キャリブレーション設定（タッチパネル補正）	50
専用ビューアソフトについて	51
専用ビューアソフトの動作環境	51

困ったときは

故障かな？と思ったら	52
------------	----

その他

製品の仕様	53
-------	----

microSDカードのデータについて	56
--------------------	----

アフターサービス

アフターサービスについて	57
--------------	----

修理に関して	57
修理受付票	59

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

安全上の注意

安全上の注意

はじめに

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

△ 危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。

△ 警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

△ 注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- !** この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
- 🚫** この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
- ⚠** この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

△ 危険

- !** 本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
- !** 運転中に本機を操作しないでください。
* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
- 🚫** 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
- 🚫** 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ベースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
- 🚫** 水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

△ 警告

- !** 本機の取り付けは、車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにした状態でおこなってください。
* 車両のキーがONの状態で取り付けると、感電および故障の原因となります。
- 🚫** 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にビンや針などの金属を入れないでください。
* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
- 🚫** 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
* 火災などの原因となります。
- 🚫** 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
- 🚫** コードをはずすときは、必ずプラグ部分を持ってはすしてください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
- 🚫** 本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接觸させないでください。
* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
- ⚠** 本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

△ 警告

- ⚠** 本機および別体カメラは、ガラス面またはリヤトレイ表面に正しく取り付けてください。
* ガラス面またはリヤトレイ表面をきれいに拭いたあと、本機および別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付いていない場合、本機および別体カメラがガラス面またはリヤトレイ表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。

△ 注意

- !** 本機に強い衝撃を与えないでください。
* 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- !** 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。
* 製品の誤作動および故障の原因となります。
- !** 本機の近くには障害になるようなものを設置しないでください。
* 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠** GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
* 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- ⚠** フロントガラスにメタルコーティングされた車両はGPS受信障害が発生することがあります。
- ⚠** トンネル入出時のよう急激に明るさがかわる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠** 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグライトをつけてください。
- ⚠** フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
* ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- ⚠** 本機は、推奨取付位置に設置してください。
* 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれことがあります。
* 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠** LED方式の信号機などでは画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- 🚫** 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
* 故障の原因となり保証を受けることができません。
- 🚫** 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 🚫** 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じことがあります。
* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

はじめに

取り付け準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サービス

microSDカードについての取り扱い注意事項

- !** microSDカードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- !** 録画画質設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、フォーマットが必要になります。
- !** 付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルは、全て消去されます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- !** microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- !** 市販のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常に關して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- !** microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- !** microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
- !** microSDカードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取りはずしてください。
* 本体の電源が入っている状態でmicroSDカードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
- !** microSDカードは消耗品です。ドライブレコーダーのメンテナンスフリー機能があっても一定期間（約1年）が過ぎると、microSDカードのメモリーセクターの一部が破損されて正常な録画ができなくなる場合があります。
* 1年毎にオプションのドライブレコーダー専用TZ microSDカードと交換することを推奨します。
- !** microSDカードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
* ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
- !** パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- !** microSDカードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
* 正しく動作しない場合があります。
- !** 指定のmicroSDカード以外は使用しないでください。
* 指定以外のmicroSDカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- !** microSDカードスロットに異物を入れないでください。
* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
- !** 油がついた手や濡れた手でmicroSDカードスロットを触らないでください。
* microSDカードの損傷、または故障などの原因となります。
- !** データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対にmicroSDカードを取り出さないでください。
* microSDカードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- !** microSDカードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
* microSDカードが破損するおそれがあります。
- !** microSDカードを落とさせたり、衝撃を与えないでください。
* microSDカードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
- !** microSDカードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
* microSDカードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
- !** microSDカードを別に購入する場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード（8GB:V9TZDRX09/16GB:V9TZDRX10/32GB:V9TZDRX11/64GB:V9TZDRX12）をご購入ください。

使用上の注意

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED方式の信号機では記録映像が点滅やチラつくことがあります。色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプ、ディスプレイを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・環境など様々な要因により、正しく録画されない場合があります。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートがかわる場合があります。
- ・電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書にしたがって、正しく取り付けてください。【**P14**】
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- ・本機および別体カメラは防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・本機および別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面またはリヤトレイとマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- ・誤作動を起こす可能性がありますので、地デジやETCなどのアンテナ近くには設置しないでください。
- ・本機を激突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどの近くに設置しないでください。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。
- ・本機を車検シールの上に貼らないでください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- ・設定した録画画質によってmicroSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。
このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができます。これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- ・画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- ・付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- ・新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- ・パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- ・パーキングモードを使用するには、必ずオプションの常時電源コード（GDO-10, GDO-24）を使用してください。常時電源コードを接続していない状態では、パーキングモードは設定できません。
- ・パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。
- ・定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ・車両バッテリーの寿命を短くする事があるため、オプションの常時電源コードの設定を**1時間、12Vに設定**することを推奨します。（常時電源コードに付属の取扱説明書も併せてご参照ください。）
- ・車両バッテリーあがりに関して、一切の責任を負いかねます。
- ・暗い場所などでは録画できない場合があります。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。あらかじめ、ご了承ください。
- ・パーキングモードを使用しない場合は、本機のパーキングモードの設定をオフにし、常時電源コードの時間設定を**0時間**にしてください。【**→P32**】

GPSについて

- ・GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- ・前回のGPS受信から72時間経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- ・自車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことできません。
- ・録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- ・取り付けになる車両のウインドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためGPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両の販売店やメーカーへお問い合わせください。

ディスプレイについて

- ・同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- ・液晶ディスプレイの性質により、輝点や滅点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象なりません。
- ・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- ・偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

タッチパネルについて

- ・走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- ・タッチパネルを強く押したり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- ・タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。【**→P50**】
- ・本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

ナイトクリア ver.2について

- ・STARVIS™ 搭載。STARVIS（スタービス）は、 $1\mu\text{m}^2$ あたり、2000mV以上（カラー品、706cd/m²光源撮像時、F5.6、1s蓄積換算）の感度を有し、可視光領域に加え近赤外領域までの高画質を実現した、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ用裏面照射型画素技術です。
- ・走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。【**→P35**】

DCコードについて

- ・本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

GPSおしらせ機能について

- ・各種GPSデータは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- ・事故多発エリアは警視庁、国土交通省の統計データより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。
- ・GPSの測位状態によっては動作しない場合があります。
- ・GPSおしらせ機能を使用する場合、GPSおしらせ機能をオンにしてください。
- ・本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

専用ビューアソフトについて

- ・専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。
(https://www.cellstar.co.jp/dlfn/download_viewer.php)

カメラレンズの注意事項

- ・本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがあります。異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

事故発生時の注意事項

- ・本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。【**→P24**】
- ・パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。記録映像が完全に消えてしまう可能性があります。
- ・microSDカードはWindowsパソコンにインストールした専用ビューアソフトで再生してください。スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと、不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまうおそれがあります。

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。
* その他注意書きが同梱している場合がございます。

<input type="checkbox"/> ドライブレコーダー本体	<input type="checkbox"/> 別体カメラ	<input type="checkbox"/> 直結配線 DC コード (3 極 DC プラグ)	<input type="checkbox"/> カメラ接続コード
コード長: 5.0m		コード長: 9.0m	
<input type="checkbox"/> 本体用マウントベース * あらかじめ両面テープ (ガラス用) が貼られています。	<input type="checkbox"/> 別体カメラ用マウントベース * あらかじめ両面テープ (ガラス用) が貼られています。	<input type="checkbox"/> ボールジョイント×2 (ストレート)	<input type="checkbox"/> 両面テープ (別体カメラ用) 色: グレー * 小さいタイプ
* 大きいタイプ	* 小さいタイプ		
<input type="checkbox"/> microSD カード (16GB) * SDカード変換アダプタ、SDカードケース付属 * ドライブレコーダー本体内に挿入されています。	<input type="checkbox"/> 脱脂クリーナー	<input type="checkbox"/> コードクリップ×5	<input type="checkbox"/> コードレール
<input type="checkbox"/> 結束バンド×5	<input type="checkbox"/> エレクトロタップ×2	<input type="checkbox"/> 撮影中ステッカー	<input type="checkbox"/> TZ ステッカー
<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書)			

オプション品・補給品

別途お買い求めください。

品名	使用目的／仕様	品番
ドライブレコーダー専用 microSD カード	microSD カードを新たに購入される場合は、TZ microSD カードをお買い求めください。	8GB: V9TZDRX09 16GB: V9TZDRX10 32GB: V9TZDRX11 64GB: V9TZDRX12
ビデオ出力コード	録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。【 P44 】 * 再生映像は出力しません。	GDO-02 コード長: 1.0m GDO-08 コード長: 3.5m
常時電源コード (3 極 DC プラグ)	パーキングモード機能を利用する場合に使用します。 最大 12 時間まで電源を供給します。 【 P31 】	GDO-10 コード長: 5.0m GDO-24 コード長: 9.0m
直結配線 DC コード (3 極 DC プラグ)	車両のヒューズボックス、ACC 線から直接電源を取る場合に使用します。	GDO-26 コード長: 9.0m GDO-42 コード長: 5.0m (2A)
TZ セーフティレーダー接続コード (12V 専用) (3 極 DC プラグ)	カメラ警告対応の TZ セーフティレーダーに接続し、これ 1 本で映像出力や電源入力ができます。 【 P45 】 * 再生映像は出力しません。	GDO-11 コード長: 3.6m

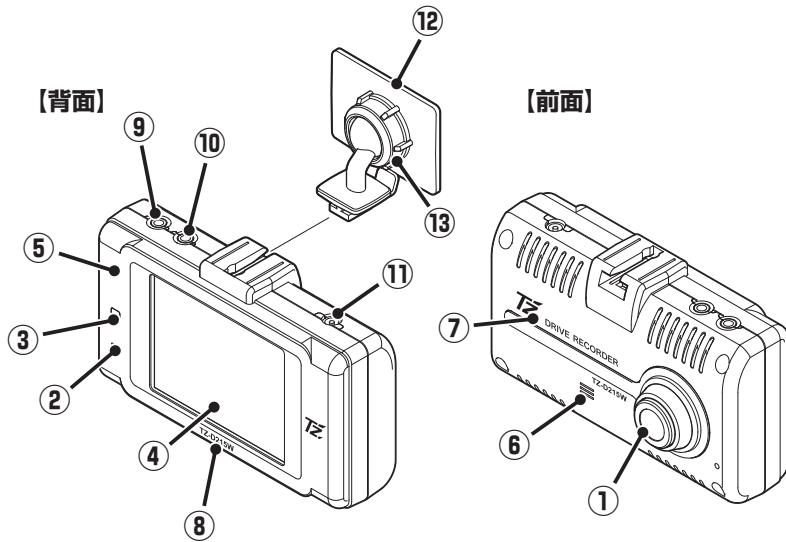


本機に適合したオプション品の型番は、下記URLの接続対応表をご覧ください。
https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

各部の名称と機能

各部の名称と機能

本体



① 摄影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ LEDランプ

本機の動作状態を表示します。

④ タッチパネルディスプレイ

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示し、タップして操作します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑦ GPS

GPS、みちびき、グロナス、ガリレオ、SBASなどの衛星を受信します。

⑧ microSDカードスロット

* 届属またはオプションの microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑨ カメラ接続端子

カメラ接続コード (L 字端子側を接続) で別体力マラを接続します。

⑩ V-OUT (ビデオ出力端子)

オプションのビデオ出力コード、または弊社製 TZ セーフティレーダー接続コードを接続します

⑪ DC12V/24Vソケット

専用の DC コード (3 極 DC プラグ) を接続し、DC12V/24V を本機に入力します。

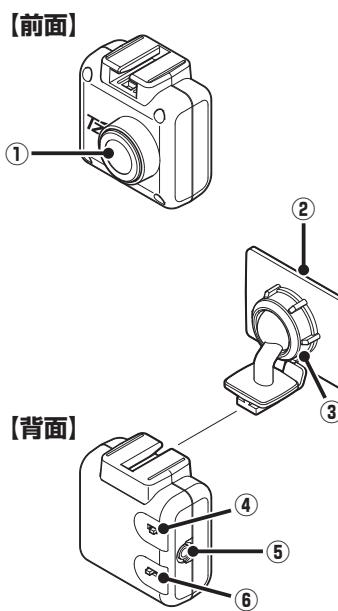
⑫ 本体用マウントベース (大きいタイプ)

あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

⑬ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

別体力マラ



① 摄影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② 別体力マラ用マウントベース (小さいタイプ)

あらかじめ貼られている両面テープでリヤガラスに取り付けます。
* リヤトレイに取り付ける場合、ボールジョイント (ストレート) に交換してから両面テープ (別体力マラ用) に貼り替えて取り付けてください。

③ 角度調整ノブ

別体力マラの取り付け角度を調整します。

④ 上下切りかえスイッチ

カメラ映像の上下反転時に使用します。

⑤ カメラ接続端子

カメラ接続コード (ストレート端子側を接続) で本体に接続します。

⑥ 正像鏡像切りかえスイッチ

カメラ映像の左右反転時に使用します。

△注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

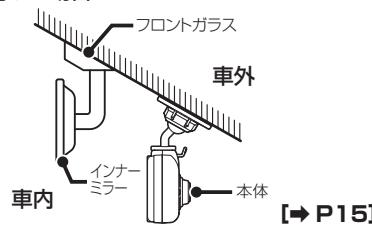
- ・本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- ・本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- ・本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- ・本機に専用のDCコード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- ・本機および別体カメラを設置した部分のガラスに汚れがあると十分な映像を撮影できない可能性がありますので、いつもきれいに保ってください。
- ・夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- ・本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- ・本機および別体カメラは防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。
- ・安全運転支援装置装着車の場合は車両の取付注意事項をご確認の上、取り付けてください。

△警告

事故発生時の衝撃により本機および別体カメラが外れる場合がございます。ガラス面またはリヤトレイ表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかりと拭き取り、本機および別体カメラを確実に取り付けてください。

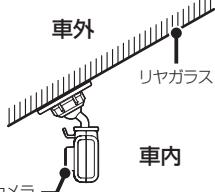
本体と別体カメラの取り付け場所（推奨）

■ 本体をフロントガラスに取り付ける場合



[→ P15]

■ 別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合



[→ P17]

■ 別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合

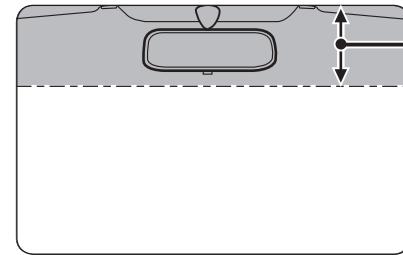


[→ P19]

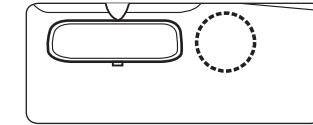
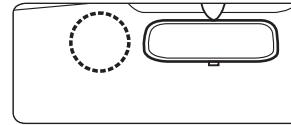
本体をフロントガラスに取り付ける場合

本体の取り付け位置（正面）

フロントガラス



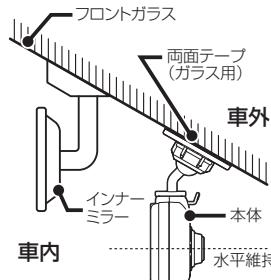
フロントガラス上部から
フロントガラス全体の20%
以内に取り付けてください。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用して
インナーミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

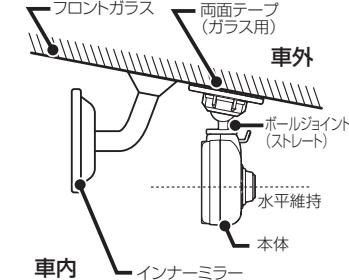
本体の取り付け位置（側面）

■ 一般的な乗用車

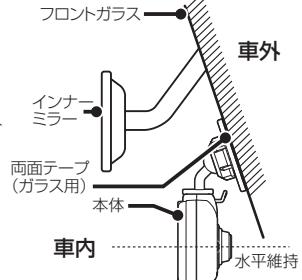


■ フロントガラスが寝ている車

*ボールジョイント(ストレート)に交換します。



■ ワンボックスやトラックなど

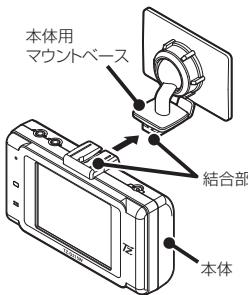


・図のように本体カメラのレンズ部分を遮ることがないように取り付けてください。

・本機が取り付いた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

本体をフロントガラスに取り付ける

- 1 本体用マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

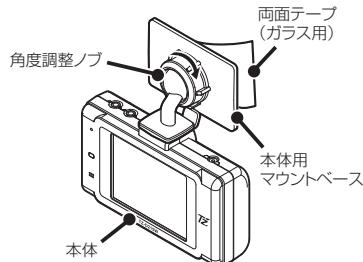


- 2 本体用マウントベースにあらかじめ貼られている両面テープ（ガラス用）で本体をフロントガラスに取り付ける。

* 推奨の取り付け位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側にまわして本体を固定する。

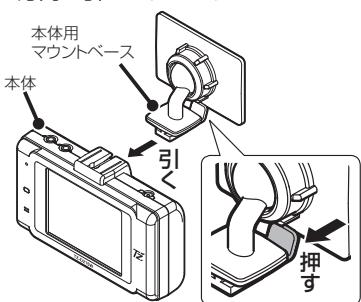
角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先に本体用マウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

本体用マウントベースから本体を取りはずす

- 本体用マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引きはずします。



別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合

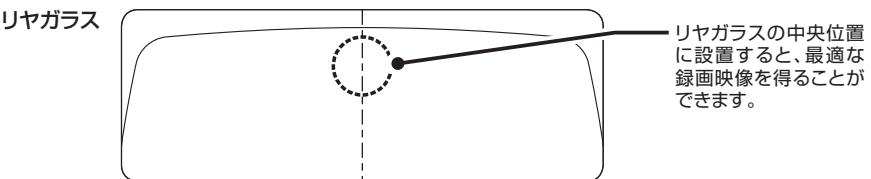
* セダンなどのリヤトレイに取り付けることもできます。[→P19]

⚠ 注意 別体カメラをリヤガラスに取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- 事故発生時の衝撃により別体カメラが外れる場合があります。ガラス面の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかりと拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。
- リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- 両面テープの貼り付け面がリヤガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントトップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

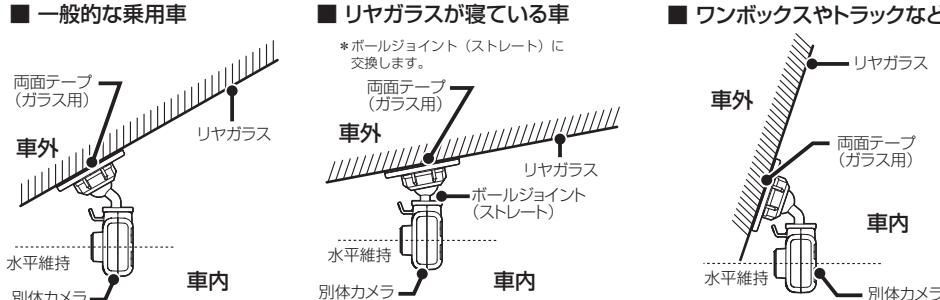
別体カメラの取り付け位置（正面）

図のように別体カメラのレンズ部分を遮ることがないように取り付けてください。



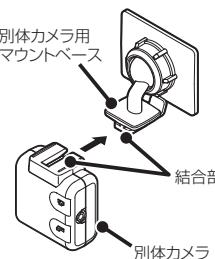
別体カメラの取り付け位置 (側面)

- 図のように別体カメラのレンズ部分を遮ることがないように取り付けてください。
- 別体カメラが取り付いた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リヤガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。



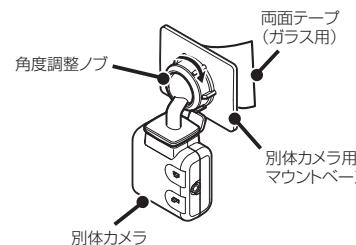
別体カメラをリヤガラスに取り付ける

1 別体カメラ用マウントベースと別体カメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



2 別体カメラ用マウントベースにあらかじめ貼られている両面テープ (ガラス用) でリヤガラスに取り付ける。
* 推奨の取り付け位置を参照して、熱線を避けて取り付けてください。

3 角度調整ノブを右側にまわして別体カメラを固定する。
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先に別体カメラ用マウントベースを車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。

* 別体カメラの上下切りかえスイッチを↑、正像鏡像切りかえスイッチをM（鏡像）に変更してください。【→P20】

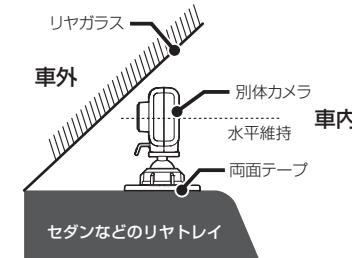
別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合

注意 別体カメラをリヤトレイに取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- 事故発生時の衝撃により別体カメラが外れる場合があります。リヤトレイの油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかりと拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。
- リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- プライバシーガラスやフィルムを貼られた車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

別体カメラの取り付け位置 (側面)

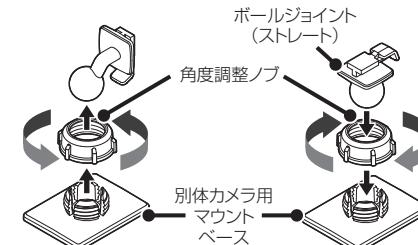
図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。



* 別体カメラの上下切りかえスイッチを↓、正像鏡像切りかえスイッチをM（鏡像）に変更してください。【→P20】

別体カメラをリヤトレイに取り付ける

別体カメラ用マウントベースから角度調整ノブをはずし、ボールジョイント（ストレート）に付け替え、両面テープ（別体カメラ用）に貼り替えます。

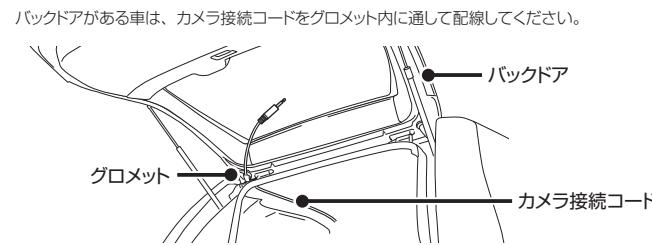


* 先にボールジョイント（ストレート）を角度調整ノブに差し込み、別体カメラ用マウントベースに取り付けてください。

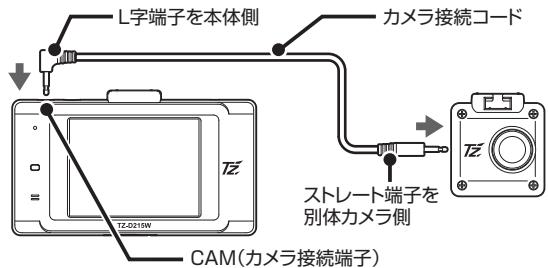
本体と別体カメラを接続

接続方法

- 1 別体カメラに接続するカメラ接続コードを配線する。



- 2 付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続します。



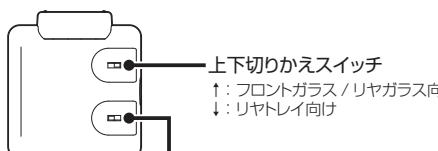
注意

- ・カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。
- ・カメラ接続コードは、雨漏りしないよう配線してください。
- ・付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用、または他機種のコードを利用することはできません。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所に合わせて別体カメラの設定を変更します。

■ 推奨設定



N (正像) : 実際に見たままの映像で記録します。
M (鏡像) : 反転した映像で記録します。

ヒューズボックスから電源を取る場合

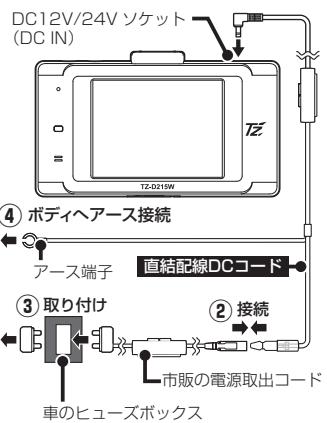
市販の電源取出コード（平型ヒューズタイプ）を使用して、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

- 1 ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ（アクセサリーソケット、ラジオなど）を探す

- 2 直結配線DCコードと電源取出コードを接続する

- 3 ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込む

- 4 直結配線DCコードのアース端子を車のボディに接続する



* 駐車監視（常時電源コード）を使用する際は、電圧監視の観点から、ヒューズボックスより電源を取ることを推奨します。

✓ アドバイス

パワー（イグニッション）スイッチを入れて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- ・コード類の接続
- ・車、またはDCコード内のヒューズ

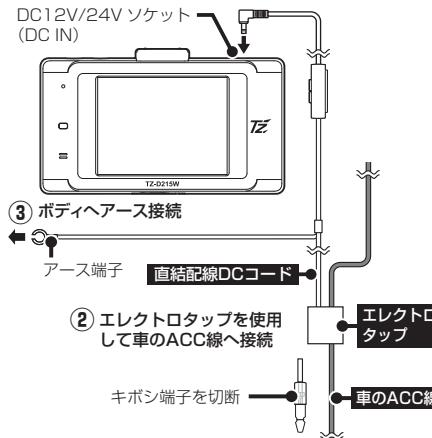
ACC線から直接電源を取る場合

付属のエレクトロタップを使用して、車のACC線から直接電源を取ることができます。

- 1 テスターなどで、車のキーをACCオンにしたときに12V、オフにしたときに0VになるACC線を探す

- 2 直結配線DCコードのギボシ端子を切り落とし、付属のエレクトロタップを使用して車のACC線へ接続する

- 3 直結配線DCコードのアース端子を車のボディに接続する



注意

アース端子接続

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

【取り付けに適さない場所】

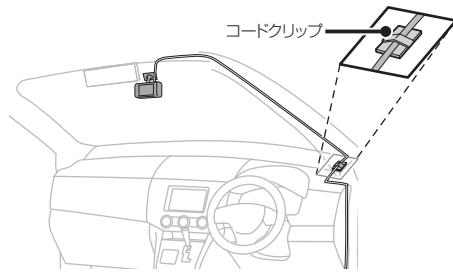
- ・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピングネジなど）
- ・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

取り付け方法（つづき）

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードレールやコードクリップ、結束バンドなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかりと束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。



△注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などをはささないでください。必要な場合には、必ずカーディラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

コードレールを使用した配線処理

コードレールの溝にコードを埋め込みます。



カットして調整可能

microSDカードの挿入および取り出し

△注意

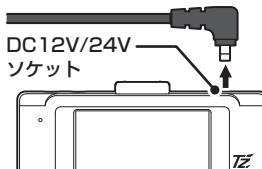
microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、指定のmicroSDカードをご使用ください。なお、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを電源がONになっている状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本体からDCコードをはずし、動作LEDが消灯し、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができます、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
- microSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属のmicroSDカード以外を挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。画面の指示にしたがってフォーマットをおこなってください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本体の設定情報は、microSDカード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たなmicroSDカードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値にもどります。

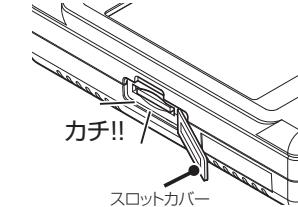
microSDカードの挿入

* 必ず、本体からDCコードをはずし、動作LEDが消灯し電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。

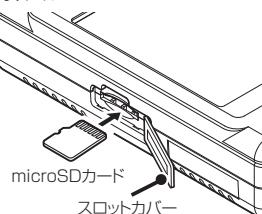
- 1 DCコードをはずし、電源OFFになっていることを確認する。



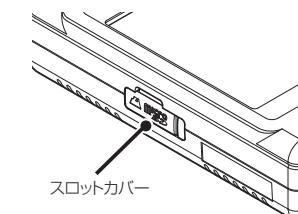
- 3 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。



- 2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに挿入する。

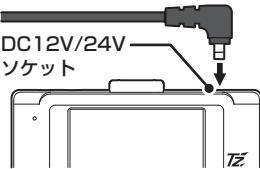


- 4 スロットカバーを閉じる。



microSDカードの挿入および取り出し（つづき）

5 DCコードを接続する。



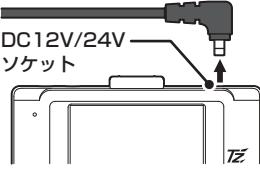
△注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

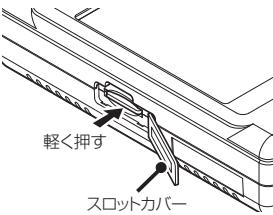
microSDカードの取り出し

* 必ず、本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。

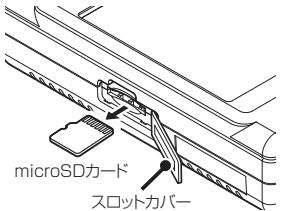
1 DCコードをはずし、電源OFFになっていることを確認する。



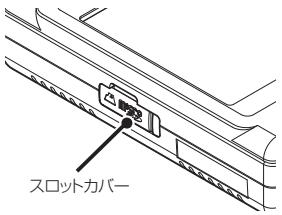
2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。



3 microSDカードを取り出す。



4 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。



製品の使用方法

△注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音がなり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF

■ 電源のON



本機には電源ボタンがありません。

車のパワー（イグニッション）スイッチをオンにすると、本機の電源がONになります。効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出し、常時録画が開始されます。【P29】

* 本機の電源がONにならない場合、「故障かな？と思ったら」を参照してください。【P52】

* 画像モード設定によりディスプレイに表示されるカメラ映像の解像度は異なります。

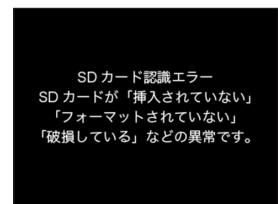
* 電源をONにしたときに画面の向きを自動的に反転して調整します。

■ 電源のOFF

パワー（イグニッション）スイッチをオフにすると、スーパーキャパシタ*により、最後の録画ファイルを安全に保存します。動作LEDが消灯し、効果音（♪ビ）のあと、自動的に電源がOFFになります。

* スーパーキャパシタ：蓄電能力を持つコンデンサ。高温に強く安全性が高い

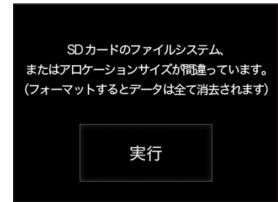
エラーメッセージ



■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）とボイスアシスト（SDカードを認識しません）を出し、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

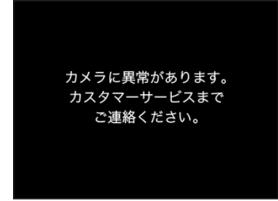
* フォーマットしてもディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。



■ microSDカードファイルシステムエラー

新しいmicroSDカードと交換してmicroSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）とボイスアシスト（SDカード設定エラー）を出し、本機のディスプレイに左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

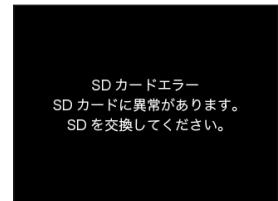
* フォーマットしてもディスプレイに「microSDカードファイルシステムエラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。



■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合、動作LEDが消灯し、効果音が出来、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。【→P49】



■ microSDカード異常エラー

microSDカードの書き込み禁止モードを検知した場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）とボイスアシスト（SDカード書き込み禁止モードを検知しました）を出し、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* 新しいmicroSDカードに交換してください。

ディスプレイ

本機の電源がONになると常時録画を開始し、次の画面を表示します。

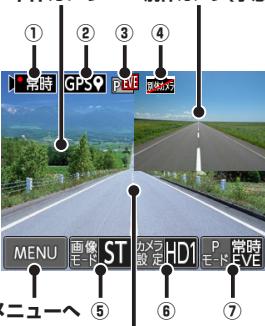
画面をタップして、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

* 再生する場合は「再生モード」【→P39】、設定メニューの変更は「設定の変更方法」【→P34～P37】をご覧ください。

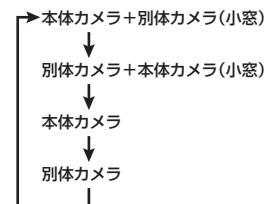
* 工場出荷時の表示状態となります。設定の「別体カメラ表示」をメインに変更するとメイン画面が本体カメラから別体カメラの映像に切りかわります。

* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切替え画面に切りかわります。

■ 本体カメラ 別体カメラ(小窓) ■ 画面アイコンの種類



別体カメラ接続時、画面をロングタップ（3秒後指を離す動作）すると、ディスプレイに表示される映像が次のように切りかわります。



アイコン	内容
●常時	常時録画の状態 アイコンをタップするとクイック録画を開始します。
① 録画モード	イベント録画の状態
●イベント	イベント録画の状態
●クイック	クイック録画の状態
② GPS	GPS を測位するとアイコンが表示されます。
●GPS	GPS を測位するとアイコンが表示されます。
③ パーキングモード	パーキングモードのイベント録画ファイルが記録されています。
●PARKING	パーキングモードのモーション録画ファイルが記録されています。
④ 別体カメラ未接続	別体カメラを接続していない場合、別体カメラ未接続アイコンを表示し、別体カメラ（小窓）は表示されません。
●CAMERA	別体カメラ未接続アイコン
⑤ 画像モード設定	カスタム
●CU	カスタム
●HI	高画質
●ST	標準
●LO	長時間
●NM	ノーマル
●HDR	HDR
●NC	ナイトクリア
●HD1	HDR+ナイトクリア 1
●HD2	HDR+ナイトクリア 2
●HD3	HDR+ナイトクリア 3
⑥ カメラ設定	タップするとカメラ設定にショートカットできます。
●常時	オン 常時
●MO	オン モーション
●EVE	オン 常時 + イベント
●MO+EVE	オン モーション + イベント
●OFF	オフ
⑦ パーキングモード 設定	タップするとパーキングモード設定にショートカットできます。
●常時	* オプションの常時電源コードを接続すると表示されます。
●MO	オン モーション
●EVE	オン 常時 + イベント
●MO+EVE	オン モーション + イベント
●OFF	オフ

* 設定メニューの「アイコン表示」をオフにすると非表示になります。【→P36】

* インポーズ記録をオンにすると、記録映像の上に重ねて現在の日時情報、現在地の緯度経度、走行速度を録画できます。【→P36】

製品の使用方法（つづき）

設定メニューの「画面表示」で速度または時計に設定し、表示することができます。【[P36](#)】

* 画面をタップするとカメラ映像を表示して、メニュー や クイック録画の操作が可能になります。

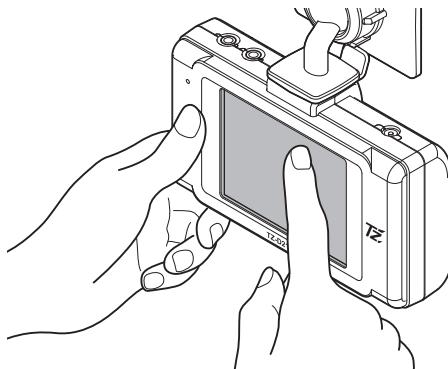
* カメラ映像を表示していない場合も録画されます。



* GPSが未測位のときは「--km/h」と表示されます。

タッチパネルについて

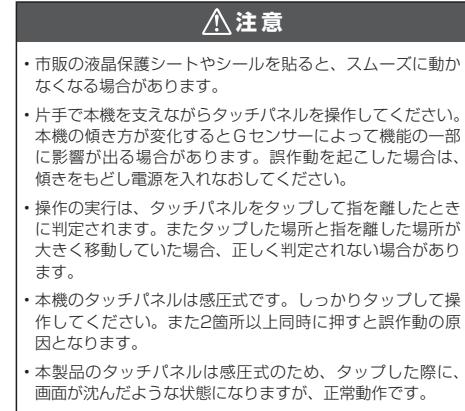
本機の操作は、タッチパネルに直接触れて（タップして）おこないます。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタップしてください。



タッチパネルの操作

タップ：画面をタッチして、すぐ指を離す動作

ロングタップ：画面をタッチして、ゆっくり数えて3秒後に指を離す動作



* タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。
【[P50](#)】



製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押したり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れたり、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸・アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

録画方法

録画モードについて

本機の電源がONになると本体の動作LEDが点滅し、常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、画面アイコンで確認できます。【[P27](#)】

* 記録中の音声を録音しない場合、設定で「音声録音」をオフにしてください。【[P35](#)】

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

効果音（トピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出力し、常時録画が開始されます。常時録画中、動作 LED は緑色点滅（1秒間点灯と1秒間消灯を繰り返す）し、1分単位で録画し続けます。

1分 | 1分 | 1分 | 1分 | 1分 | 繼続 ...

* パーキングモードでは、常時録画時間の設定によって1ファイルの録画時間が変動します。

■ イベント録画モード（自動）/ クイック録画

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合や手動でクイック録画を開始した場合、常時録画を中断して、効果音（トピロリロリン*速い）とボイスアシスト（イベント録画を開始します / クイック録画を開始します）を出力し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画中、動作 LED は速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。録画終了後、常時録画モードに戻ります。



* 常時録画はイベント発生まで録画します。

* イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度」で調整することができます。【[P35](#)】

* 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。

* 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。

* 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。

* 常時録画（microSDカード総容量の73%）、イベント録画（microSDカード総容量の20%）で分割管理されています。

* 本体カメラと別体カメラの記録映像は、1つのファイルで保存されます。専用ビューアソフト以外では、正しく再生できない場合があります。

* 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、タッチパネルの操作を受け付けません。タッチパネルの操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。

* 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。

* 事故など発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。

* スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても録画映像を正常に保存します。*蓄電状況によっては、正常に保存されない場合があります。

microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE	通常時 : NNF_****.avi	microSDカード総容量の73%
		パーキングモード : PNF_****.avi パーキングモード（モーション） : PMF_****.avi	(最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画モード	EVENT	通常時 : NEF_****.avi	microSDカード総容量の20%
		パーキングモード : PEF_****.avi	(最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

* ファイル名の****には、年月日-時分秒が入ります。例：211031-101010は、2021年10月31日10時10分10秒です。

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

- * 「アイコン表示」をオンにしてください。【➡P36】
- * V-OUT（ビデオ出力）がオン時または、画面表示がオフ時は動作しません。
- * 録画映像は、【常時録画】をタップした5秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。
- * 画面表示が時計、速度、オフの場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1 本機の動作中に【常時録画】をタップする。



効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（クイック録画を開始します）を出し、クイック録画が開始されます。クイック録画中、動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。クイック録画終了後、常時録画モードに戻ります。



撮影モードについて

静止画を手動撮影するためのモードです。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。

- * microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。
- * 撮影された静止画（JPGファイル）は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンなどでmicroSDカードから参照してください。
- * 画面表示が時計、速度、オフの場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。



2 【撮影モード】を選択（タップ）する。



3 【カメラアイコン】をタップする。



カメラアイコン以外をタップすると、撮影機能を終了します。

パーキングモードについて

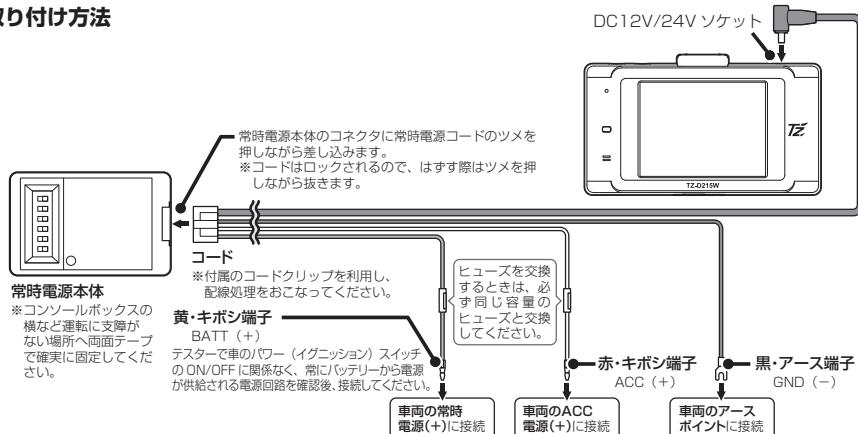
* 別途オプション品が必要となります。

オプションの常時電源コード（GDO-10、GDO-24）を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。録画方式は常時、モーション、常時+イベント、モーション+イベントから選択できます。パーキングモードでは、パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがOFFになってから約6秒後に作動します。（画面が消え、動作LEDが遅く点滅します。）パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、ACCがONになると、約6秒後にパーキングモードが解除され、常時録画になります。

△警告

- ・パーキングモードでは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-10、GDO-24）を使用してください。
- ・パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して一切の責任を負いかねます。お客様自身にて、定期的なバッテリーポイント検をおすすめいたします。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コードの時間設定を「0時間」にしてください。
- ・車両バッテリーの寿命を短くすることがあるため、オプションの常時電源コード（GDO-10、GDO-24）の設定を1時間、12Vに設定することを推奨します。
- ・パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- ・車両がスリープモード時に電圧下しない電源に接続してください。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。あらかじめ、ご了承ください。

■取り付け方法



- * オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFのときに接続してください。
- * 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、パワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、動作LED消灯を確認後、パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。

パーキングモードの録画仕様について

画像	D1（別体力カメラ:D1）
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中

- * パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コードのディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。
- * パーキングモード中は、本体力カメラと別体力カメラで録画し、1つのファイルに保存されます。
- * カメラ接続コードが外れたなど、別体力カメラを認識していない場合、本体力カメラだけで録画されます。【➡P27】

パーキングモードの設定



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。

3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【パーキングモード】をタップする。



4 パーキングモード中の録画モードを選択（タップ）する。

* パーキングモード中の録画モードは以下の表を参照。

設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右部の【戻る】をタップしてモード切替え画面までもどり、【録画モード】をタップします。



常時電源コードが接続されると、画面に「パーキングモード設定」のアイコンを表示します。

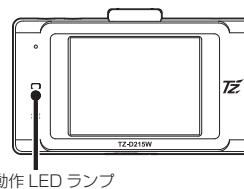
* パーキングモードのアイコンは、パーキングモードの録画モードにより異なります。
[→P27]

パーキングモード中の録画モード

オン 常時	常時録画を記録しつづけます。（古いファイルは消去されます。） * 常時録画は【INFINITE】フォルダに保存されます。
オン モーション	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録します。 * モーション録画は常時録画として【INFINITE】フォルダに保存されます。
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）のイベント録画を記録します。 * 常時録画は【INFINITE】フォルダ、イベント録画は【EVENT】フォルダに保存されます。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録し、イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）のイベント録画を記録します。 * モーション録画は常時録画として【INFINITE】フォルダ、イベント録画は【EVENT】フォルダに保存されます。

* パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって1ファイルの録画時間が変動します。

パーキングモードの動作LED



常時録画	遅い緑色点滅（2秒点灯と2秒消灯を繰り返す）
モーション録画	検知：遅い緑色点滅（2秒点灯と2秒消灯を繰り返す） 待機中：遅い2回緑色点滅（2秒間に点灯と消灯を2回おこなった後2秒消灯を繰り返す）
イベント録画	速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）

パーキングモードの動作

パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがオフになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態を動作LEDの緑色点滅（上記の表参照）で表示します。

パーキングモードの動作中、クイックボタンを押すと動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）し、クイック録画をおこないます。録画後、常時録画に戻ります。

・パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。[→P27]

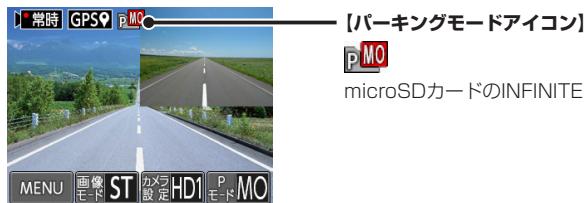


* パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度にて調整してください。

* イベント録画が発生した初回の起動時のみおしゃせします。

パーキングモードの動作中、モーション録画が発生した場合

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。[→P27]



* パーキングモード中のモーション録画は、1ファイルに記録される録画時間が、画像モード設定により変動します。

* モーション録画が発生した初回の起動時のみおしゃせします。

設定の変更方法（例：アイコン表示）

各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、ダウンロードした専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。



- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。
* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切替え画面に切り替えます。



- 2 【設定モード】を選択（タップ）する。



- 3 設定モード画面右部の【▲ ▼】をタップして、変更する設定メニューを選ぶ。



- 4 変更したい設定項目を選択（タップ）し、設定内容を切りかえる。
設定項目が多い場合は、画面右側の【▲▼】をタップし、項目をスクロールさせます。



- 5 引き続き他の設定を変更する場合は、画面右部の【戻る】をタップして設定モード画面までもどり、画面右部の【▲ ▼】をタップして、設定メニューを選ぶ。

設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右部の【戻る】をタップしてモード切りかえ画面までもどり、【録画モード】をタップします。

設定一覧

* 設定値は初期設定のものです。

メインメニュー	設定値	設定項目
音量調整	2	3 : 音量を（大）にします。 2 : 音量を（中）にします。 1 : 音量を（小）にします。 0 : 音量を（無）にします。
画像モード設定	高画質	高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 標準 : 録画画質を標準的な設定にします。 長時間 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。 カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。 [→ P37]
カメラ設定	HDR ナイトクリア 1	ノーマル : HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 HDR : HDRによる画像補正をおこない、急激な明暗の変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 ナイトクリア : ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 STARVISにより、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDRによる画像補正是おこないません。 HDR ナイトクリア 1 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は（小）です。 HDR ナイトクリア 2 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は（中）です。 HDR ナイトクリア 3 : HDRとナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は（大）です。 * カメラ設定は本体カメラ用です。別体カメラはHDR固定となります。
別体カメラ表示	オン	オン : 本体カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。 オン 優先 : 別体カメラをメイン、本体カメラを小窓で表示します。 オフ : 別体カメラを非表示にします。 メイン : 別体カメラをメインで表示します。
音声録音	オン	オン オフ 10 : 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : 3G センサーを低感度に設定します。 カスタム : 3G センサーの設定をお好みで設定できます。 [→ P37]
録画モード	オン 常時+イベント	常時 : 常時録画（1分単位）します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。
画面明るさ	4	4 : ディスプレイの輝度を最大にします。 3 2 1 : ディスプレイの輝度を最小にします。 ↓
ディマー	オン	オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。 * ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00にディスプレイの輝度を自動で下げます。

設定一覧 (つづき)

* 設定値は初期設定のものです。
*  は常時電源コード接続時、項目が表示されます。

メインメニュー	設定値	設定項目
ボイス	オン	オン : 音声案内をおこないます。 オフ : 音声案内をおこないません。
画面表示	オン	オン : カメラ映像を表示します。 オン 時計 : ディスプレイに時計を表示します。 オン 速度 : ディスプレイに速度を表示します。 オフ : 画面表示しません。 オールオフ : 画面、LED、ボイスをオフにします。
アイコン表示	オン	オン : ディスプレイにアイコンを表示します。 オフ : ディスプレイにアイコンを表示しません。
インポーズ記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録しません。
V-OUT (ビデオ出力)	オフ	オン : 外部モニターに録画中の映像を出力します。 オフ : 外部モニターに録画中の映像を出力しません。 * 外部モニターなどへの接続方法 [→P44]
位置情報取得	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。
GPS おしらせ機能	オフ	取締機 : オービスなど速度取締機の設置ポイントをおしらせします。 高速道逆走注意エリア : 高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをおしらせします。 ゾーン30 : 生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域（ゾーン30）をおしらせします。 事故多発エリア : 事故発生率の高いエリアです。 事故多発路線 : 事故発生率の高い路線です。 小学校 中学校 : 学校付近でおしらせします。 データ情報 : GPS データの版数を確認します。
		データ情報 : GPS データの版数を確認します。
		オン 常時 オン モーション オン 常時+イベント オン モーション+イベント オフ
		10 : パーキングモード中のイベント録画の3Gセンサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : パーキングモード中のイベント録画の3Gセンサーを低感度に設定します。
		フォーマット : microSDカードのフォーマットをおこないます。 [→P48]
		キャリレーション設定 : タッチパネルを補正します。 [→P50]

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
画像	D1	FHD (別体カメラ: HD) HD (別体カメラ: D1) D1 (別体カメラ: D1)
画質	低	高 標準 低
明るさ	中	明 中 暗
コントラスト	中	高 中 低

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
前後	10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 オフ	: 3G センサーを高感度に設定します。
左右	6	: 3G センサーを低感度に設定します。
上下	1 オフ	: 3G センサーをオフに設定します。

画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。走行時の状況や好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。

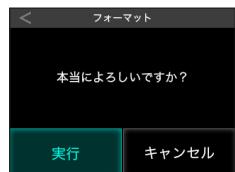
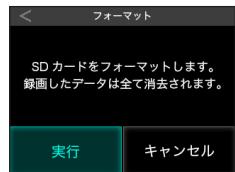
3 【画像モード設定】を選択（タップ）する。

4 「画像モード設定」画面に切りかわります。

5 設定したい画像モードを選択（タップ）する。

6 【戻る】をタップして設定を確認する。
ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生します。
* カスタムは画像または画質を変更するとフォーマットが発生します。

7 【実行】をタップする。
【キャンセル】：画像モード設定をキャンセルし、設定モードにもどる



ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。
フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

その他の機能

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

* 再生モード中は、録画できません。

* 外部モニターなどで再生することはできません。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。



2 【再生モード】を選択（タップ）する。



3 【常時】または【イベント】を選択（タップ）する。
「再生ファイル」画面に切りかわります。



4 ファイルを選択（タップ）する。
再生ファイルが多い場合は、画面右側の【▲▼】をタップし、ページをスクロールさせます。

- * 再生ファイル名について [→P29]
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。



5 本機のディスプレイで再生を開始する。
再生モード中は、画面をロングタップすると次の2種類の表示方法で切りかわります。

- ①本体カメラのみ ②別体カメラのみ
再生モード中に画面をタップするとファイルの選択にもどります。

GPSおしらせ機能

内蔵のGPSデータにより安全運転に役立つGPS警告をおこないます。MyCellstarで最新のGPSデータに更新できます。

- * GPSおしらせ機能は初期設定OFFとなります。
- * GPSおしらせ機能（個別設定）をオンにしてください。
- * GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。



取締機

オービスなど速度取締機の設置ポイントを500m手前でおしらせします。

- * 初期設定はオフ



高速道逆走注意エリア

高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをおしらせします。

- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所がかわります。



ゾーン30

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域（ゾーン30）をおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所がかわります。



事故多発エリア

事故発生率の高いエリアを500m手前でおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



事故多発路線

事故発生率の高い路線を500m手前でおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



小学校

学校付近でおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



中学校

学校付近でおしらせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。

詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■用意するもの

- 2GB以上のSDHC規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされた空きのmicroSDカード
- * microSDカードメンテナンスフリー機能がリセットされる可能性があるため、付属のmicroSDカードを使用すると録画した記録映像が消えるかもしれません。GPSデータを入れて更新しないでください。

■パソコンの推奨環境

- OS : Windows (8/10以降)
Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- メモリ : 1GB以上
- グラフィックメモリ : 256MB以上

■スマートフォンの推奨環境

- OS : Android 5.0以降
- * iOS、Android4.4、microSDカードスロットが無いスマートフォンには対応していません。
- * Android5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
- * スマートフォンは、メモリー状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

パソコンでGPSデータをダウンロード

1 ブラウザでMyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開く。



クリック

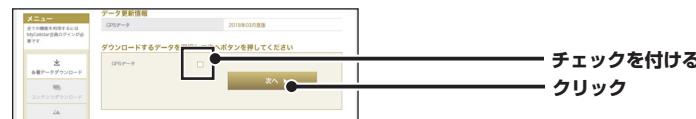
2 リストからTZ-D215Wを選択し、保存をクリックする。



TZ-D215Wを選択

クリック

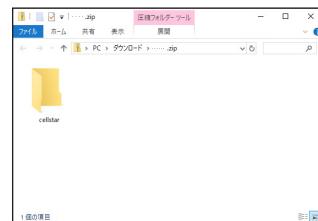
3 GPSデータにチェックを付け、【次へ】ボタンをクリックする。



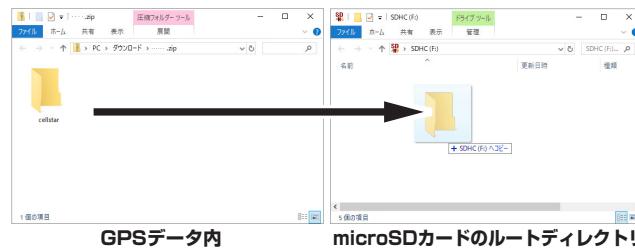
4 【ダウンロード】ボタンをクリックする。



5 ダウンロードされたGPSデータ（ZIPデータ）を開く。



6 GPSデータ内の「cellstar」フォルダごとmicroSDカードにコピーする。



最新のGPSデータが入ったmicroSDカードができあがります。

GPSデータ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入ったmicroSDカードを用意します。【→P41】
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

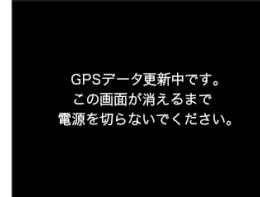
<http://www.mycellstar.jp/>

1 本体からDCコードをはずし、電源を切る。

2 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。【→P23】

3 DCコードを接続して電源を入れる。

自動的にGPSデータが更新され、本体が再起動します。



GPSデータの版数確認

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。

2 設定モード→GPSおしさせ機能→データ情報



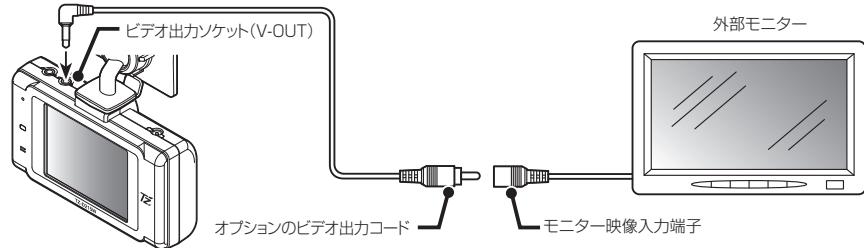
内蔵のGPSデータの版数が表示されます。

外部モニター表示

オプションのビデオ出力コードで本体のV-OUTソケットと外部モニターを接続するとディスプレイの映像を外部のモニターに表示できます。(映像のみ、音声は出力されません)



■ 外部モニターとの接続



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。

2 【設定モード】をタップする。



3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【V-OUT】を選択(タップ)する。

4 【オン】を選択(タップ)する。
【戻る(メインメニューへ)】:「メインメニュー」画面にもどる

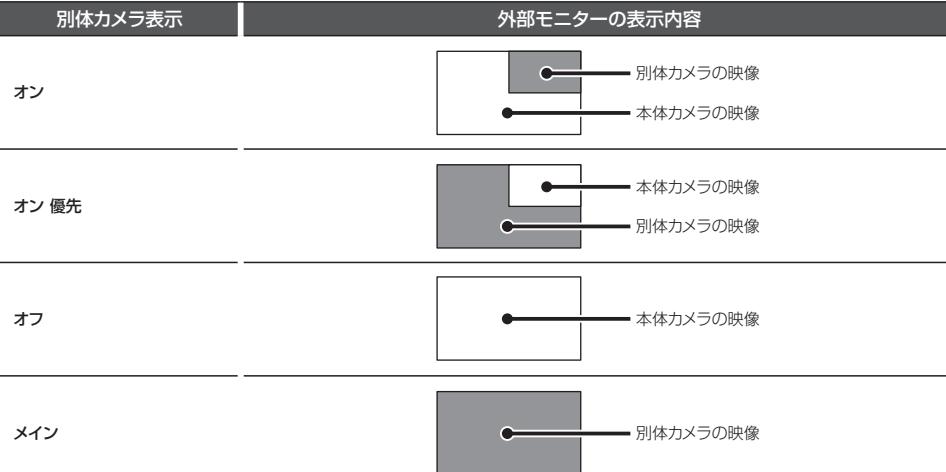


5 【戻る】を選択(タップ)して、モード切替え画面までもどる。

6 【録画モード】を選択(タップ)して、常時録画をおこなう。
確定後、ディスプレイがオフになります。



外部モニターには次のように表示されます。
本体の画面をロングタップするとカメラ映像が切りかわります。



* 必ずオプションのビデオ出力コードをご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。

* モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。

* 電源ON時、一時画像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。

* 本体の画面をタップすると、モード切替え画面になります。

TZセーフティレーダーに接続

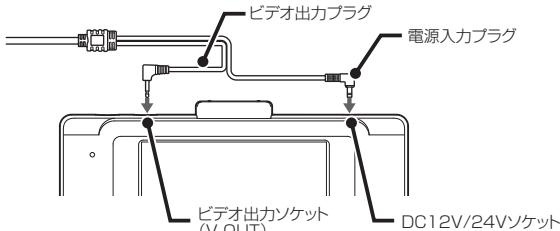
オプションのTZセーフティレーダー接続コード(3極DCプラグ)で本機とTZセーフティレーダー(カメラ警告対応)を接続すると、本機の映像をTZセーフティレーダーに表示することができます。また、本機の電源もTZセーフティレーダーから供給されます。

- * 本機に適合したオプション品の型番は、下記URLの接続対応表をご覧ください。
(https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf)

⚠ 注意

- ・本機で記録した映像は、TZセーフティレーダーの画面で再生することはできません。必ず本機のディスプレイにて再生をおこなってください。

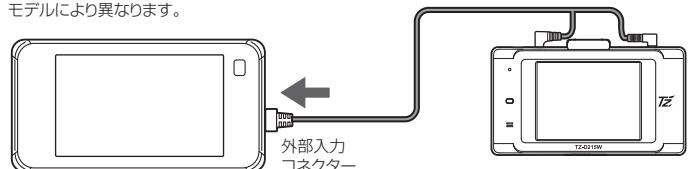
- 1 TZセーフティレーダー接続コードのビデオ出力プラグと電源入力プラグを本機に差し込む。



* 常時電源コード(駐車監視配線)をご使用される場合は電源入力プラグを使用しませんので、適宜処理願います。

- 2 TZセーフティレーダー接続コードの外部入力コネクターをTZセーフティレーダーの外部入力ソケットに差し込む。

※TZセーフティレーダー本体のイラストは
モデルにより異なります。



V-OUT(ビデオ出力)の設定を変更してください。[→P36]

- 3 TZセーフティレーダーの取扱説明書を参照し外部入力の設定を変更する。

オン(待受、警告)：カメラ警告(ライブビュー)として使用する設定 ※工場出荷時の設定
オン(モニター)：ドライブレコーダーのモニターとして使用する設定

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSを測位すると測位アナウンスをおこない、GPSアイコンが表示されます。

[→P27]

✓ アドバイス

お買い求めいただいたて、初めてお使いになる場合

- ・GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります(15分程度)。これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- ・トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高压電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- ・GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

* GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。

超速GPSについて

自車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ アドバイス

- ・GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- ・前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- ・最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

* microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

* 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時にもどります。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。

3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【フォーマット】を選択（タップ）する。



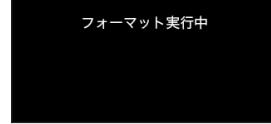
4 【実行】をタップする。
【キャンセル】：「設定モード」画面にもどる



5 【実行】をタップする。
【キャンセル】：「フォーマット」画面にもどる



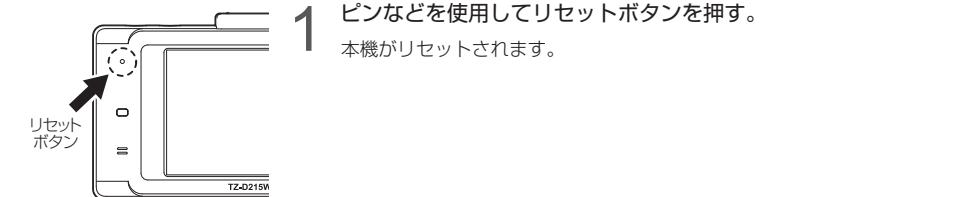
ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。
フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。



システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化（強制フォーマット）をおこなってください。

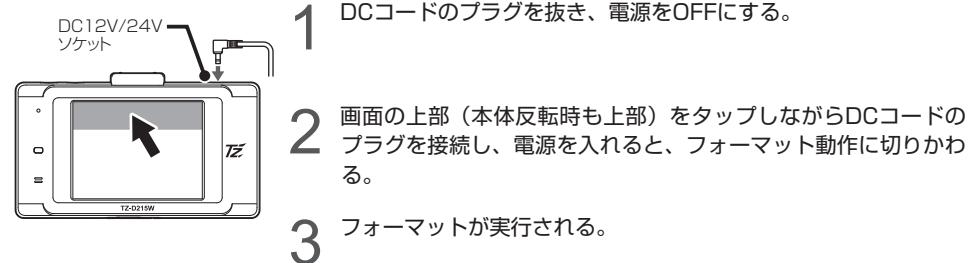
システムリセット



強制初期化（強制フォーマット）

強制初期化（強制フォーマット）をおこなうと、microSDカードがフォーマットされ、本体の設定値が工場出荷時にもどります。必要に応じて再設定をおこなってください。【P35～P37】

* microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。



キャリブレーション設定（タッチパネル補正）

タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切りかえる。

2 【設定モード】をタップする。

3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【キャリブレーション設定】をタップする。



4 ①～⑤まで順番で十字（+）表示の真ん中をタップする。
選択が完了すると、キャリブレーション設定を終了し、
メインメニューへ切りかわります。

専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLからダウンロードします。
https://www.cellstar.co.jp/dlfn/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

- ・CPU： Pentium 4 以上
- ・OS： Windows 8 / 10 以上
- ・メモリ： 1GB 以上
- ・HDD： 4GB 以上
- ・GPU： DirectX 9.0c 以上に対応するGPU

1 viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。

2 viewerフォルダを開く。

3 フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。

4 setup.exeを起動するとインストールが開始される。

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。	P21、P25
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none">microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。	P6
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none">microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSDカードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。 その場合は、microSDカードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSDカードをご使用ください。microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 * microSDカードをフォーマットしてください。	P23、P24
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。 または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none">「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。	P35
ひんぱんにイベント録画される または録画されない	<ul style="list-style-type: none">「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。	P35
画面を表示しない	<ul style="list-style-type: none">画面がオフになっていませんか。V-OUT（ビデオ出力）がオンになっていませんか。	P36
再起動する	<ul style="list-style-type: none">本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none">日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。	—
バーティングモードを設定できない	<ul style="list-style-type: none">本機が常時電源コードを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおすしてください。	—
設定中に、フォーマット動作になった	<ul style="list-style-type: none">画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、本体からDCコードをはずして電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。	P24
設定が初期値にもどる	<ul style="list-style-type: none">本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。新しいmicroSDカードに交換していませんか。 <p>* microSDカード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値にもどります。再設定をおこなってください。</p>	P23

製品の仕様

■TZ-D215Wの仕様

本体カメラ	撮像素子	200万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 115°、垂直 60°、対角 141°
	F値	2
	最低被写体照度	3LUX
	録画画素数	200万画素 (FullHD) / 100万画像 (HD) / 35万画素 (D1)
別体カメラ	撮像素子	100万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 107°、垂直 59°、対角 127°
	F値	2
	最低被写体照度	3LUX
	録画画素数	100万画素 (HD) / 35万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps) * 別体 (HD) カメラは、高画質 (4Mbps) / 標準 (3.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	HD	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps) * 別体 (D1) カメラは、高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	D1	高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps) * 別体 (D1) カメラは、高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	FullHD	水平 115°、垂直 60°、対角 141° * 別体 (HD) カメラは、水平 107°、垂直 59°、対角 127°
HD	水平 115°、垂直 60°、対角 141° * 別体 (D1) カメラは、水平 85°、垂直 59°、対角 104°	
D1	水平 97°、垂直 60°、対角 122° * 別体 (D1) カメラは、水平 85°、垂直 59°、対角 104°	
録画圧縮	録画 AVI(H.264)、静止画 JPEG	
録画トリガ	常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画	
GPS	有り	
HDR	有り * 別体カメラは有りで固定	
3G センサー	有り (衝撃感度 10 段階)	
対応外部記憶媒体	8GB : V9TZDRX09 / 16GB : V9TZDRX10 / 32GB : V9TZDRX11 / 64GB : V9TZDRX12	
記録データ	日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル	
音声録音	有り (オン、オフ設定可)	
外部映像出力	有り (本体ディスプレイか外部どちらか一方のみ)	
インターネット地図連動	有り	
電源電圧	DC12V/24V	
動作温度範囲	-10°C ~ +60°C	
本体サイズ	92 (W) × 23.5 (D) × 51 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 82 (H) mm	
本体重量	95g	
別体カメラサイズ	35 (W) × 18 (D) × 35 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 65 (H) mm	
別体カメラ重量	20g	
カメラ接続コード	9.0m (片側ストレートプラグ)	
保証期間	3年	

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートがかわる場合があります。

■撮影可能時間の目安 *別体カメラ接続時

常時録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 31 分	約 41 分	約 53 分
	HD	約 62 分	約 88 分	約 116 分
	D1	約 116 分	約 155 分	約 232 分
16GB	FullHD	約 63 分	約 82 分	約 106 分
	HD	約 125 分	約 176 分	約 232 分
	D1	約 232 分	約 309 分	約 464 分
32GB	FullHD	約 126 分	約 162 分	約 211 分
	HD	約 249 分	約 352 分	約 462 分
	D1	約 462 分	約 616 分	約 924 分
64GB	FullHD	約 254 分	約 330 分	約 424 分
	HD	約 500 分	約 707 分	約 928 分
	D1	約 928 分	約 1238 分	約 1857 分

イベント録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 8 分	約 11 分	約 14 分
	HD	約 17 分	約 23 分	約 32 分
	D1	約 32 分	約 40 分	約 45 分
16GB	FullHD	約 17 分	約 22 分	約 28 分
	HD	約 33 分	約 47 分	約 63 分
	D1	約 63 分	約 79 分	約 91 分
32GB	FullHD	約 34 分	約 44 分	約 56 分
	HD	約 66 分	約 94 分	約 126 分
	D1	約 126 分	約 158 分	約 181 分
64GB	FullHD	約 68 分	約 89 分	約 113 分
	HD	約 134 分	約 188 分	約 254 分
	D1	約 254 分	約 318 分	約 363 分

パーキングモード / microSD カードの容量		最大録画時間
8GB		約 220 分
16GB		約 451 分
32GB		約 900 分
64GB		約 1800 分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

■パーキングモードの録画時間について

- ・パーキングモード中の常時録画とモーション録画
画像モード設定によって1ファイルに記録される録画時間が変動します。【[P35](#)】
モーション録画が発生した場合、常時録画を1ファイル記録します。

画像モード設定	画質	1 ファイルの録画時間
Full HD	高	430 秒
	標準	335 秒
	低	260 秒
HD	高	220 秒
	標準	155 秒
	低	105 秒
D1	高	120 秒
	標準	90 秒
	低	60 秒

- ・パーキングモード中のイベント録画
イベント録画が発生した場合、画像モード設定共通で1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）記録されます。

画像モード設定	画質	1 ファイルの録画時間
Full HD	高	
	標準	
	低	
HD	高	
	標準	25 秒
	低	
D1	高	
	標準	
	低	

* モーション録画は、1ファイルの常時録画された動画を保存します。

microSDカードのデータについて

- ・イベント録画フォルダ（EVENT）
イベントが発生した動画または、クリック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の20%を使用)

- ・常時録画フォルダ（INFINITE）
常時録画された1分間の動画＊または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
(microSDカード全体容量の73%を使用)

* パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。

- ・撮影フォルダ（CAPTURE）
キャプチャーした画像を保存します。(microSDカード全体容量の2%を使用)

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。
保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。
保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。
保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

ダウンロードをご希望のお客様

下記URLよりPDFをダウンロードしてください。（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）
https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

1 故障かな？と思ったら **【▶P52】** を参考に故障かどうかをご確認ください。

2 また下記URLより「よくあるご質問（FAQ）」を参照ください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>

3 下記URLに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。
https://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

* ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。

* セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。

* 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。

* 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。
ご確認ください。

■修理の流れ

1 ご不明な点は、セルスター工業カスタマーサービスにご連絡ください。

0570-006867 (ナビダイヤル)

0120-75-6867 (フリーダイヤル)

[受付時間] 9:00 ~ 18:00

(土・日・祝日および、セルスター工業休業日を除く)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合: 0570-006867

* 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先

セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145

三重県伊賀市安場 1608-5

TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、一切の責任を負いかねます。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

① 製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。

② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名 : TZ-D215W

お客様ご記入欄

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

修理品返却先

※上記住所所以外への返却の場合にご記入ください。

お客様名 :	ご住所 :	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他 ()
お宅電話番号 :	FAX番号 :	

microSDカードのデータなどの消失に関する同意確認	お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。
本項のご署名について同意します。ご署名	お見積り連絡 : <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要 () 円以上の修理の場合に連絡
	・お預かりした製品の場合は、お見積りの連絡はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。
	※不要を選択の場合は、お見積りの連絡はいたしません。
	具体的な症状 : <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する
	できるだけ詳しくご記入ください。
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

修理品返却先	お客様名 :	ご住所 :
	お宅電話番号 :	

修理品返却先	お客様名 :	ご住所 :
	お宅電話番号 :	

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

本証は、セルスター工業の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票も併せてご記入ください。[→P59]

製品名 : TZ-D215W	保証期間 3年 お買い上げ年月日 から3年間有効
シリアルNo :	お買い上げ年月日 : 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	
ご住所 :	
お電話 :	
印	

以下の場合は保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛けり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項(お買い上げ日、販売店名など)に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附隨的損害については一切この責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス
[受付時間] 9:00~18:00(土日祝日および、セルスター工業休業日を除く)
 0570-006867 (ナビダイヤル)
0120-75-6867 (フリーダイヤル)
携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合 : 0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)

[受付時間] 9:00~18:00(土日祝日および、セルスター工業休業日を除く)
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

下記URL 「よくあるご質問 (FAQ)」より
質問を送信してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



販売元 トヨタ モビリティジャパン株式会社

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

製造元 セルスター工業株式会社